

探究の向こうに あなたの未来が見える!



写真:塩尻静岡大学副学長、 鎌塚教育学部長

静岡大学が、科学好きな小中学生の探究力をSTEAM 的な学びを通して身につけてもらおうと始めた 8 年目の講座です。

今、AIの発明によってコンピューターが飛躍的に発達する社会が世界的に生まれ、加速度的に知の世界が拡がりを見せています。こんな社会は夢物語の未来社会だと思われていました。しかし、科学者や科学技術者は、シンギュラリティと言われる人の脳の能力を内蔵したシステムをまもなく完成させようとしています。西暦 2000 年の頃に予測された人の幼稚園児くらいの能力が開発されるのは、2025 年頃だろう、そして大人の能力を身につけたシステムが創られるのは、2045 年頃だろうと予言されました。しかし、この予測は、限りなく近い将来達成されるだろうと言われています。何かワクワクする未来社会がすぐそこまで来ているようです。そうした未来社会を受講生のみなさんは、生き抜いていくことになるのです。 みなさんはそうした Society5.0 の未

来社会に必要な「探究力」の基礎的な能力を身につけるために、この講座に参加しているのです。

2025 年 6 月 22 日、静岡 STEAM フューチャースクールの 8 年目の開講式が来賓・STAGE1.0/1.5/2.0/3.0 の全合格受講者・保護者・外部評価委員・各メンターの皆様を迎えて行われました。

JST 日本科学技術振興機構が、全国 30 カ所の大学や研究機関などに Society5.0 の日本の未来社会を構築するために、小 5 から中 3 を対象とした「次世代科学技術チャレンジプログラム」の静岡校の開講式が行われました。

興元静岡大学学長、 紅林 STEAM 主担当教授 STEAMの「A」と「S」「T」「E」「M」 が融合する意味を感じるワークショップ

静大の芳賀教授のワークショップは、田宮模型のプラモデルの企画やデザインに芳賀教授が関わって産み出された「もの」を、ひとり一人組み立て、坂を登らせる体験を通して試行錯誤する姿は、新鮮な科学体験の場となったようです。

坂を登るバギー車。坂の角度を変えて挑戦してみる…とにかく製作している時間の静けさは、子ども達の集中した学びの素晴らしさを見た思いがしました。

歯車がどんな役割をしているの？ギアー比ってなに？…

始めて出会う「言葉」。でも、そこに面白い科学の学びが潜んでいるのです。

今日は、みなさんの未来へ続く科学探究の旅がはじまる記念日です！
(文責:増田)

